

機能		
主な機能		概要・特徴
イメージ管理	イメージの管理	サーバでPCに配信するイメージを一元管理。イメージを差分ごとに世代管理。重複排除によりストレージ容量を節約。
	イメージの更新	PC教室の利用中でもイメージを更新可能。GUI管理ツール方式とキャッシュブート方式を選択可能。
	イメージの自動更新	Windows Updateやウイルス対策ソフトの定義ファイルを最新にするためのイメージ更新を自動化。
	イメージの配信	任意のPCをグループとし配信するイメージを割り当て（複数可）。PC運用中にバックグラウンドで配信。配信方式をユニキャスト / マルチキャストから選択可能。
	イメージの起動	複数のイメージが配信されている場合、起動するイメージをPC起動時に選択可能。イメージごとに起動可/不可を設定。
	テスト起動	任意のPCを、起動する世代を指定して起動可能。
	起動高速化	特許取得済みの当社独自技術により起動時間を高速化し、イメージ更新の繰り返しによる劣化も防止。
	イメージの切り替え	起動するイメージの切り替えをスケジュールで変更可能。
	環境復元	PCを再起動またはシャットダウンすることでOSの環境を自動復元。環境復元機能は、常に無効もしくは利用した当日中のみ無効にすることも可能。
	非復元領域	イメージ系列ごとに、環境復元対象外の領域を作成することが可能。
可用性	クラスタ構成対応	複数のサーバで冗長化・負荷分散。イメージ配信中にサーバに障害が発生しても自動的に正常なサーバへ切替。
	キャッシュブート	サーバと通信不可でもPCのストレージにキャッシュしたイメージから起動可能。キャッシュデータの暗号化も可能。
耐障害性		PCのストレージが故障した場合でもイメージを起動可能。
運用管理	GUI管理ツール(管理者)	WEBベースの管理ツールにてシステムを運用。サーバの障害状況、各PCの利用状況 / イメージ配信状況を確認可能。障害状況はメール通知も可能。
	GUI管理ツール(利用者)	PCのOS上でGUIから稼働バージョンや起動モード、イメージのキャッシュ状況を確認可能。
	日本語対応	GUI管理ツールは標準で日本語表示に対応。
	利用状況表示	PCの現在の利用状況をリアルタイムで確認。PCごとの稼働日時、利用ユーザ / イメージ、アプリケーションの利用状況などを収集し、CSV形式で出力可能。
	利用可能時間帯設定	PCの利用時間を設定可能。設定された時間外にPCの電源を入れてもOSを起動せずにシャットダウンされる。
	ログオン管理	1人の利用者が連続してPCを利用できる時間を制限。1人の利用者が複数のPCを占有できないよう制限。
	タスク・ジョブ管理	任意のPCをグループとし電源ON / OFF / ログイン / ログオフ / 再起動 / 任意のコマンドの実行が可能。即時実行とスケジュール実行を選択可能。複数のタスクを組み合わせたジョブを作成し一連の作業を自動実行可能。ジョブは、タスクに加えてイメージの自動更新も含めて組み合わせ可能。
	ユーザ管理	ユーザ毎に操作できる機能、範囲を制限可能。
その他	無線LAN対応	無線LAN環境でも、起動 / イメージ配信 / 環境復元の機能や管理ツールでの利用状況表示が可能。
	PC基盤	PCは内蔵されているCPU / メモリで動作。通常のFAT端末と同様に起動が早く、アプリケーションや周辺機器などの機能も制限なく利用可能。
	PC教室利用状況表示	PC教室の開閉室や授業情報、PCごとの利用状況などを学生がWEBブラウザから確認可能。PC / デジタルサイネージ / スマートフォン向けの表示に対応。エージェントソフトをインストールすることで、V-Bootクライアント以外の端末も管理可能。
	リモート接続管理	学内PC / 持込みPC / 自宅PCなどから空き教室等のPCにリモートデスクトップ接続して利用可能。接続に使用するWebサイトにアクセス認証を設定可能（Active Directory認証、SSO（SAML2.0）に対応）
	ライセンス管理	アプリケーションの起動を特定PCまたは同時起動数で制御。スケジュール設定により授業用に優先的にライセンスを確保。エージェントソフトをインストールすることで、V-Bootクライアント以外の端末も管理可能。
	認証サーバ連携	複数のActive Directoryと連携し、PCごとに使用するActive Directoryを設定可能。
	FATコンバータ	FAT端末としてインストールされたOSイメージからV-Bootイメージに変換可能。
	外部メディア管理	管理ツールからPCの外部メディアの読み書き禁止 / 書き込み禁止を設定可能。PC利用後の取出し忘れを検知し、アラート画面の表示 / メール通知も可能。
	故障PC対応	簡単な操作で、イメージの配信だけでなくサーバの登録情報の自動取得・登録が可能。
	Wake on LAN中継機能	V-Bootサーバから送信されるマジックパケットが届かないネットワーク環境にあるクライアントに、中継機を介してマジックパケットを到達させることが可能。

システム要件 ※詳細及び制約事項は弊社ホームページ（<https://www.alpha.co.jp/biz/products/education/v-boot/specifications/>）をご参照ください

	V-Bootサーバ (VBMサーバ)	V-Bootサーバ (IOサーバ)	PC教室利用状況表示システム サーバ	リモートデスクトップ接続コントローラサーバ
機能・役割	システム管理機能、イメージ配信、 障害監視、DHCPサーバ	イメージ配信	PC教室利用状況表示機能の利用	リモートデスクトップ接続コントローラ機能の利用
CPU	Intel Xeonプロセッサ 4コア以上			
メモリ	最低16GB、24GB以上推奨	16GB以上	8GB以上推奨	16GB以上推奨
ストレージ	※ 1	100GB以上	300GB以上	30GB以上※ 4
ネットワーク	サービス側：1Gbps以上、4Gbps以上推奨 バックエンド側：1Gbps以上、4Gbps以上推奨※ 2		1Gbps以上	1Gbps以上
対応OS	・ Windows Server 2016 Standard ・ Windows Server 2019 Standard ・ Windows Server 2022 Standard			・ Red Hat Enterprise Linux Server 9 (64bit)

クライアント端末 ※ 5 ※ 6		共有ファイルサーバ ※ 3	
機能・役割	V-Bootで管理する端末	機能・役割	イメージ格納
CPU	利用するOS / アプリケーションの推奨スペック	プロトコル	Windowsファイル共有(SMB3以上)
メモリ	8GB以上推奨※ 7	ストレージ	※ 1
グラフィックス	利用するOS / アプリケーションの推奨スペック	ネットワーク	・ サービス側：不要 ・ バックエンド側：1Gbps以上、4Gbps以上推奨
ストレージ	SSD推奨、HDD非推奨（容量256GB以上、512GB以上を推奨※ 8） 4Kネイティブの物理ディスクでは動作しません	※ 1 クライアント台数やイメージ数等で変動しますのでお問い合わせください。 ※ 2 VBMサーバは、シングルサーバ構成の場合バックエンド側は不要です。 ※ 3 Windowsファイル共有に対応するファイルサーバであればOSに制限はありません。 ※ 4 本システムで使用するサイズです。別途、使用するOSごとの推奨容量を確保してください。 ※ 5 UEFI対応が必須要件です。 ※ 6 端末は事前の動作検証が必要です。動作検証につきましては動作検証の案内をご確認の上お問い合わせください。動作検証済み機種については 動作確認済み機種一覧 を参照ください。 ※ 7 別途、イメージ内で利用するアプリケーションに応じた容量が必要です。 ※ 8 配信するイメージ数・イメージサイズによって必要容量が変動しますのでお問い合わせください。 ※ 9 上記以外にも制約事項がございますので、詳細は弊社ホームページをご確認ください。	
ネットワーク	[有線] 内蔵またはUSB接続の1000BASE-T×1ポート必須、PXEブート対応推奨 [無線] 無線LANによるイメージ配信を利用する場合は802.11ac以上の対応を推奨		
対応OS	・ Windows 11 [21H2 / 22H2 / 23H2 / 24H2] (64bit) ・ Windows 10 [22H2] (64bit) ・ CentOS Stream 9 (64bit) ・ Ubuntu 20.04 / 22.04 / 24.04 (64bit)		

開発元  株式会社アルファシステムズ

〒211-0068 神奈川県川崎市中原区小杉御殿町2丁目29番2号

製品販売本部 文教ソリューション担当

【TEL】(044)738-4157

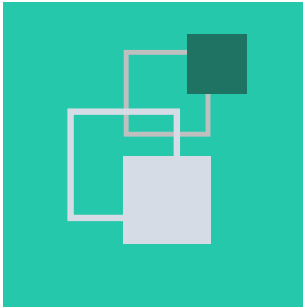
【MAIL】edu@list.alpha.co.jp

【製品HP】<https://www.alpha.co.jp/biz/products/education/v-boot/>



■V-Boot および当社コーポレートロゴは、株式会社アルファシステムの登録商標または商標です。その他、記載された製品サービス等の名称は、各社の各国における商標登録または商標です。本文中では、®、™等の表記を省略していることがあります。
■本カタログは、著作権法によって保護されます。本カタログの一部あるいは全体について、当社の許可無く複製および転載することを禁じます。
■製品およびソリューションの仕様は、予告なく変更されることがあります。

2024.12



PC 管理・運用システム

V-Boot



PC 運用管理者様へ

ご利用中の PC 管理システムにご不満はありませんか？
（起動時間が遅い、メンテナンスに時間がかかる等・・・）

V-Boot なら、メンテナンスにかかるコストの大幅な削減が可能で、
利用者に嬉しいプラスアルファの機能も豊富に備えております。

"誰にとっても使いやすい" 魅力的な教育環境を実現いたします。

国産 1 0 0 %の安心感

- ・ 100% 自社開発（Made in KAWASAKI）
- ・ 全てプロパー社員の保守体制
- ・ 100,000 ライセンスを超える豊富な導入実績
- ・ 東証プライム市場上場の組織力で将来にわたり手厚くサポート

運用コストの削減

- ・ Windows Update、ウイルス定義ファイル更新を日時指定で自動化
- ・ 管理者の休日出勤を大幅に削減（PC 利用中でもイメージ更新可能）
- ・ PC 故障時も簡単に復旧可能な高い耐障害性

導入コストの削減

他社製品を購入しなくても、色々なアプリをオールインワンで利用可能

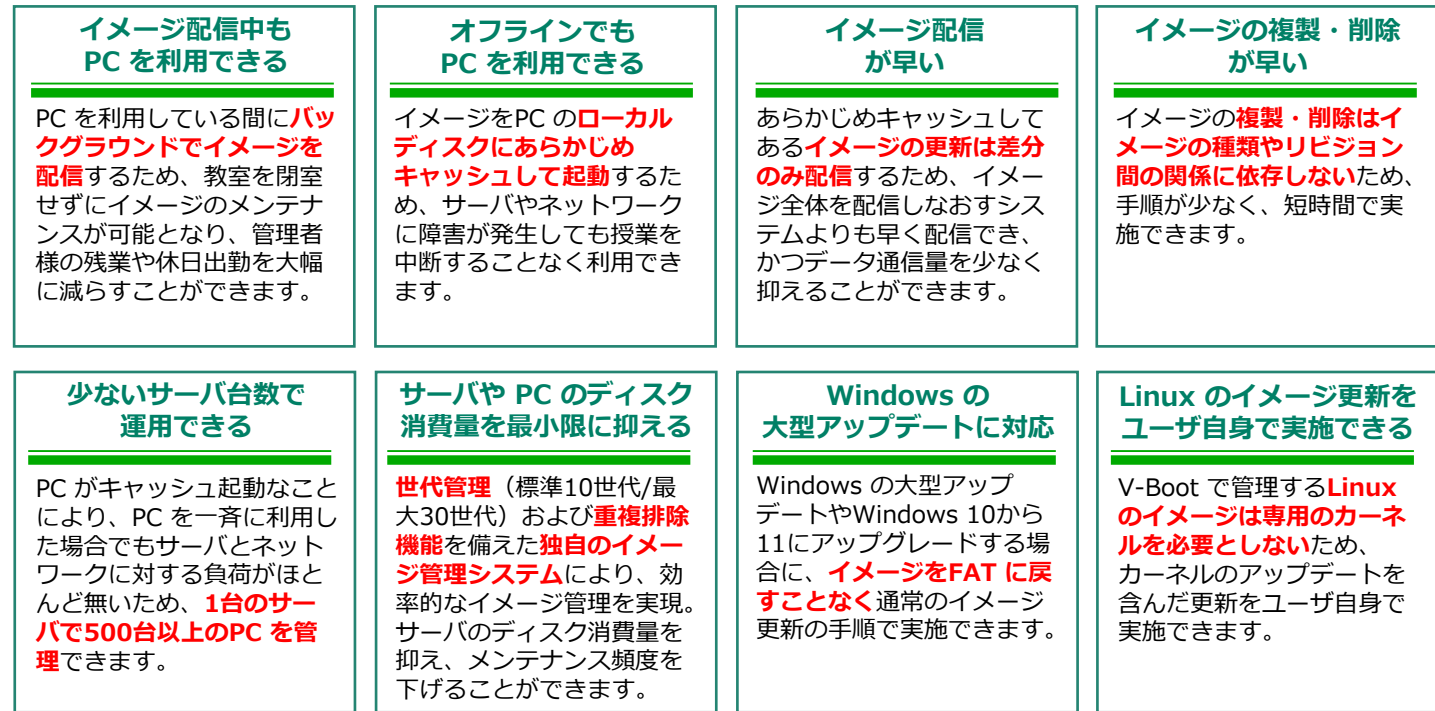
- ・ アプリケーションのライセンス管理機能
- ・ PC 教室の空席状況の表示機能
- ・ USB メモリの抜き忘れアラート機能
- ・ PC の利用ログ集計機能
- ・ リモートアクセス接続管理機能

V-Boot (ブイブート) とは

V-Boot は **PC 管理者様向けの運用支援システム** です。
 多台数のPC ハイイメージ（OS やアプリケーションなどの設定に関する情報）を一斉配信し、同じ環境に統一することができます。
 1 台1 台同じ設定にする作業が必要なく、運用が手軽になるので、
「このアプリケーションを使用したい」 などの利用者の要望を反映しやすくなり
 充実したPC 環境を提供することができます。

イメージ更新・配信の仕組み

■ 一般的な PC 運用システム（クローニング/ネットブート）と "ここ" が違う！



■ 国産100%の安心感

総販売ライセンス数
100,083

累計導入団体数
134

2024年11月20日現在
※2024年度の導入予定案件含む

神奈川県川崎市
の自社で
開発・サポート
まで実施

北海道 8 件
東北 1 1 件
関東 5 3 件
中部 1 0 件
近畿 3 2 件
中国 7 件
四国 2 件
九州・沖縄 1 1 件

導入後のサポートも安心

製品サポートもすべて自社の社員が行っています。東証プライム
市場上場の組織力で、将来にわたり手厚くサポートいたします

自社サポートメンバ
専用サポートサイト

**Made in
KAWASAKI**

運用・導入の コスト を削減！

V-Boot はイメージの更新・配信だけでなく、学内のPC を運用管理する上で便利な機能を数多く搭載しています。これにより、日々の運用・メンテナンスのコストやシステム導入コストを大きく削減することができます。

運用コストの削減 日々のメンテナンスや障害対応の**手間を軽減!**

管 利

PC の利用中もイメージの配信
ができるので、**PC 教室を閉室
せずにイメージのメンテナンス**
ができます。管理者様の残業や
休日出勤の削減が可能です。



いつでも
メンテナンス
できる

PC を利用した
ままでも OK

管理機能 …管理者にうれしい機能

利用機能 …利用者にうれしい機能

の自動化

スケジュールされた
時間に実行



シャットダウン、再起動で設定が元通り

貸出ノートPCなら、返却時のリカバリが不要！

管 **PC の環境復元**

利用者がPC 設定を変更してしまっても、シャットダウン・再起動で設定が元に戻ります。この機能は「常に無効」もしくは「利用した当日中のみ無効」にすることが可能で、運用方法に合わせて利用できます。

導入コストの削減 他社製品を購入しなくても**オールインワン**で利用可能！

管理 ライセンス管理

学生のアプリケーション利用を制限して、最小限のライセンス数で運用できます。授業時間に合わせて特定の教室に必要な分のライセンスを確保する使い方も可能です。

PC 教室の空席状況や開閉室時間などを学生がWEB ブラウザから確認することができます。突然の休講や教室変更などのスケジュール変更に対応した表示ができます。

サイネージで巡回表示

スマートフォンの対応

PC教室利用状況表示システムサーバ

外部メディア抜き忘れアラート

PCの利用終了時に光学ドライブやUSBポートに取り出し忘れがあると、アラートを表示し、忘れ物を防止します。管理者や利用者に通知メールを送信することもできます。



クライアントPCの稼働状況やアプリケーションの利用状況を自動集計し、ログをCSVファイルで出力することができます。
本機能を使い、設備投資の有効性の評価が可能になります。

利 リモートアクセスによる BYOD 端末および PC 教室の有効活用

The diagram illustrates a BYOD (Bring Your Own Device) environment. On the left, a laptop is labeled '自宅' (Home) and 'BYOD端末' (BYOD terminal). A dotted arrow points from the laptop to a server icon labeled 'リモートデスクトップ 接続コントローラサーバ' (Remote Desktop Connection Controller Server). From this server, two dotted arrows point to a group of icons labeled '学内' (In-school). This group includes five desktop PC icons labeled 'PC教室' (PC Classroom) and two server rack icons labeled '仮想クライアント' (Virtual Client). A pink callout bubble points to the '仮想クライアント' icons, containing the text '学内PC/仮想クライアントへの リモートアクセス' (Remote access to in-school PC/virtual client).

※有償アプリケーションのリモート利用可否については
そのアプリケーションのライセンス形態や利用規約をご確認ください。